

基礎医学研究の為に「胎盤組織」をご提供頂きました皆様へ

放医研は、放射線の人体への影響について調査研究を行っている研究機関です。その趣旨に則って、人体の組織・臓器に関して、その特性を考慮した意義のある研究計画を進めています。

今回の研究では、胎児付属物（胎盤組織）に豊富に含まれることを特徴とする、DNAの代謝に関係するたんぱく質を調べ、データベースを構築することを目的としています。このようなデータベースの構築は、放射線の影響を解明する上で、基本的な情報になると考えています。

この研究では、過去にご提供を頂きました「胎盤組織」を活用することによって行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となるご提供者の一人ずつに直接説明し同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

[研究課題名] 胎児由来組織を特徴付ける DNA代謝マーカーの探索的研究

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 福島復興支援本部

[研究責任者] 高萩 眞彦

[研究の目的] ヒト胎盤組織に特徴的な DNAの代謝に関係するたんぱく質のデータベース構築

[研究の方法]

●対象となる方々

1999年1月から2011年12月の間に「胎盤組織」をご提供頂いた方。

●利用する情報

対象となる方々の個人情報を使用致しません。

また、新たに質問や検査は致しません。

[個人情報の取り扱い]

お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は、解析処理された数値として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることは絶対にありません。（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 個人情報保護規程に従い取り扱います）

この研究にご自分の提供試料を使ってほしくない方、またはそのご家族は、2016年5月31日までにお申し出ください。

この研究へのご自分の提供試料の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。いつでもお断りいただけますので、その場合は、下記 [問い合わせ先：窓口] にお申し出ください。ただし、試料から個人情報を除いて誰のものかわからなくなってしまった場合、試料の利用を中止できない場合があります。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

電話：043-206-3193（平日；9：00～17：00）